

行政評価シート

事業番号	3
所管課名	町民課

1. 評価対象事業名等

事業名	火葬料補助金交付事業
総合計画実施計画事業 (認定番号:事業名)	なし
行政改革大綱実施計画事業 (細目コード:事業名)	なし

2. 事業内容・事業費等

事業目的	本町に居住する住民の葬祭費を軽減し、福祉の向上を図る。						
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・住民基本台帳法により、本町に記録されている者の火葬料金に対して交付する。 ・死産児の場合は、その母親が死産当時、住民基本台帳に記録されているときに交付する。 ・上限は95,000円。 						
根拠法令・条例等	大磯町火葬料補助金交付規則						
執行体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他()						
事業費 (財源内訳) (千円)	年度	総額	一般財源	国庫支出金	県支出金	起債	その他
	H22(決算)	26,026	26,026				
	H23(決算)	28,804	28,804				
	H24(予算)	26,900	26,900				
事業費内訳	(320件×81%×95,000円)+(320件×19%×38,000円)=26,934,400⇒26,900千円 ※95,000円＝平塚市聖苑、38,000円＝小田原市斎場						

3. 指標値の推移

事務事業の各種指標の年度実績及び見込み、目標		単位	H22 (実績値)	H23 (実績値)	H24 (見込み又は計画値)
(指標名)					
対象指標 (対象者数等)	① 死亡者数(4/1～3/31)	人	333	359	320
	② 大磯町民(3/31現在の人口)	人	33,513	33,529	33,322
活動指標 (活動量)	① 補助金交付件数	件	315	341	320
	② 補助金交付総額	千円	26,026	28,804	26,900
成果指標 (達成度等)	① 補助金の交付	(自由記入欄) 補助金交付対象者について、交付申請漏れのないよう死亡届がなされたとき等において本制度の周知をしている。			
	②	人			
		(自由記入欄)			

4. 事務事業の評価

妥当性	実施手段・主体は妥当か。	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他()
	理由	本町に火葬施設がない現状において、他の火葬施設設置自治体を利用することを余儀なくされていることから住民負担を軽減とした福祉の向上は妥当と判断する。 ■ 上がった <input type="checkbox"/> おおむね上がった <input type="checkbox"/> あまり上がらなかった <input type="checkbox"/> その他()
成果	意図した成果が上がっているか。	理由 平成16年3月までは火葬利用料の全額(上限あり)を補助していたが、平成16年4月から行政改革により見直しがされ1/2を乗じた額(上限47,500円)としたが、平成20年4月からは再び全額補助(上限95,000円)することにより、火葬に要する費用の負担軽減が図られている。
	理由	■ 効率的 <input type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> やや非効率 <input type="checkbox"/> 非効率
効率性	コストに対して効率的か	理由 本町において火葬施設を整備するとした場合を想定すると、建設費、運営及び維持管理に要する費用は膨大となることが予測されることから、火葬場を設置するより補助金交付により住民負担の軽減を図ることで行政効果が得られ費用対効果から見ても効率的である。
	理由	<input type="checkbox"/> 削減した <input type="checkbox"/> 削減できなかった <input checked="" type="checkbox"/> 削減の余地は無い <input type="checkbox"/> その他()
総合評価 (担当課の自己評価)	理由	全額補助から1/2補助へ、その後、再び全額補助する経過があり、本制度を継続する以上削減の余地は見込めない。
	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性は良好で、現状のまま継続する <input type="checkbox"/> B 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、さらに改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> E 事業継続の必要性が低い	
	評価の判断理由	
	補助制度があることにより住民負担の軽減に寄与している。	

5. 改善の方向性 ※総合評価Aの場合は記入不要

--

所管課名	町民課
事業名	火葬料補助金交付事業

事業番号	3
------	---

<p>評価対象 選定理由等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 予算規模が大きな事業 ■ 今までに事業仕分けや行政評価の対象になった事業 <input type="checkbox"/> 行政改革実施計画に位置付けられている事業 ■ その他 〔 当事業における補助内容などの考え方 〕 				
<p>評価選定に対する 所管課の見解</p>	<p>評価対象に選定された理由に対する所管課の考え方</p> <p>本町に火葬施設がない現状において、他の自治体等が設置する施設を利用することに対する町民の利用料負担を補助することは福祉の向上に寄与しているものと判断します。</p>				
<p>外部 評価 結果</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; padding: 5px;">総合評価結果</td> <td style="padding: 5px;"> <input type="checkbox"/> A 現状どおり事業を進めることが適当 (適当) <input type="checkbox"/> B 事業の進め方を改善し事業を継続 (改善・継続) <input checked="" type="checkbox"/> C 事業規模・内容、事業主体の見直し (抜本的見直し) <input type="checkbox"/> D 事業の休・廃止を検討 (休・廃止) </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="padding: 5px;"> <p>評価コメント</p> <p>所得制限はつけるべきであり、全額補助する必要性は認められない。当該事業の必要性を再考したうえで、金額（上限額）、所得制限など今後の方向性を検討し、抜本的な制度のあり方を見直すべきである。条例化についても検討するべきである。</p> </td> </tr> </table>	総合評価結果	<input type="checkbox"/> A 現状どおり事業を進めることが適当 (適当) <input type="checkbox"/> B 事業の進め方を改善し事業を継続 (改善・継続) <input checked="" type="checkbox"/> C 事業規模・内容、事業主体の見直し (抜本的見直し) <input type="checkbox"/> D 事業の休・廃止を検討 (休・廃止)	<p>評価コメント</p> <p>所得制限はつけるべきであり、全額補助する必要性は認められない。当該事業の必要性を再考したうえで、金額（上限額）、所得制限など今後の方向性を検討し、抜本的な制度のあり方を見直すべきである。条例化についても検討するべきである。</p>	
総合評価結果	<input type="checkbox"/> A 現状どおり事業を進めることが適当 (適当) <input type="checkbox"/> B 事業の進め方を改善し事業を継続 (改善・継続) <input checked="" type="checkbox"/> C 事業規模・内容、事業主体の見直し (抜本的見直し) <input type="checkbox"/> D 事業の休・廃止を検討 (休・廃止)				
<p>評価コメント</p> <p>所得制限はつけるべきであり、全額補助する必要性は認められない。当該事業の必要性を再考したうえで、金額（上限額）、所得制限など今後の方向性を検討し、抜本的な制度のあり方を見直すべきである。条例化についても検討するべきである。</p>					
<p>次年度事業への 取組み状況</p>	<p>外部評価結果を受け、次年度事業への取組み状況などの反映結果</p> <p>予算額: 15,312 → 25,312 千円 記入日: H25.3.15</p> <p>改善点など:</p> <p>平成25年度当初予算は、対象者の増加も見込まれる今後において、葬祭費を軽減し福祉の向上を図る本制度を継続・安定的に維持するため、近隣市町の状況を参考に交付上限を9万5千円から5万円以内とする予算を計上しました。なお、所得制限の導入については、死亡者本人又は補助金申請者のいずれの所得とするか、また補助金申請者の中には大磯町外者もいることなど、十分な検証の必要性、また、制度の条例化についても、他の補助金制度など全体的な検証が必要と考え、今後の検討課題としました。 (平成25年度予算審議において)</p> <p>議会側から、火葬料補助金の上限を9万5千円から5万円以内に引き下げることについては、町民、議会への説明が不十分などの意見が多数あり、補助金を現状のままとする修正案が議会から提案され賛成多数で可決されましたので、平成25年度は現状制度のもと補助を行っていくこととなります。</p> <p>外部評価委員会からのコメント 記入日: H25.3.21</p> <p>議会の判断で変わってしまったことは仕方がないことである。評価結果を受けて見直しに取り組んだ点は評価できる。しかし、手続きが準備不足であった点は残念であるため、平成26年度の制度改正に向けて取り組んでいただきたい。</p>				